

院内の新型コロナウイルス感染症発生について（第二報）

令和4年12月15日（木）に発生した一連の感染につきましては、12月20日（火）以降新たな発生はありません。一連の陽性者につきましては、当院職員9名となります。

また、上記の一連の他、令和4年12月16日（金）発生の一連につきまして、新たに12月20日（火）に入院中の患者さん1名、12月21日（水）に入院中の患者さん1名、当該病棟を退院している患者さん3名の新型コロナウイルス陽性が確認されました。一連の陽性者につきましては、当院職員3名、入院患者さん14名となります。

感染の拡大範囲については、関係する職員・患者さんのPCR検査を至急実施して確認に努めるとともに、渋川保健福祉事務所の指導を受けながら、対策・対応を実施しております。また、当該病棟への新規入院の受け入れを、しばらくの間中止しますので、対象となる患者さんには、当院より連絡させていただきます。

救急外来、一般外来につきましては、通常通りの診療を行っておりますが、今後の状況により、入院・外来診療を縮小する可能性もありますので、ご承知おきください。

今後、新たな事実が判明した場合には、随時お知らせしていく予定です。

患者様、関係の皆様には、ご心配とご迷惑をお掛けしますが、事情をご理解頂きますようお願い申し上げます。

令和4年12月21日

独立行政法人国立病院機構
渋川医療センター
院長 蒔田 富士雄